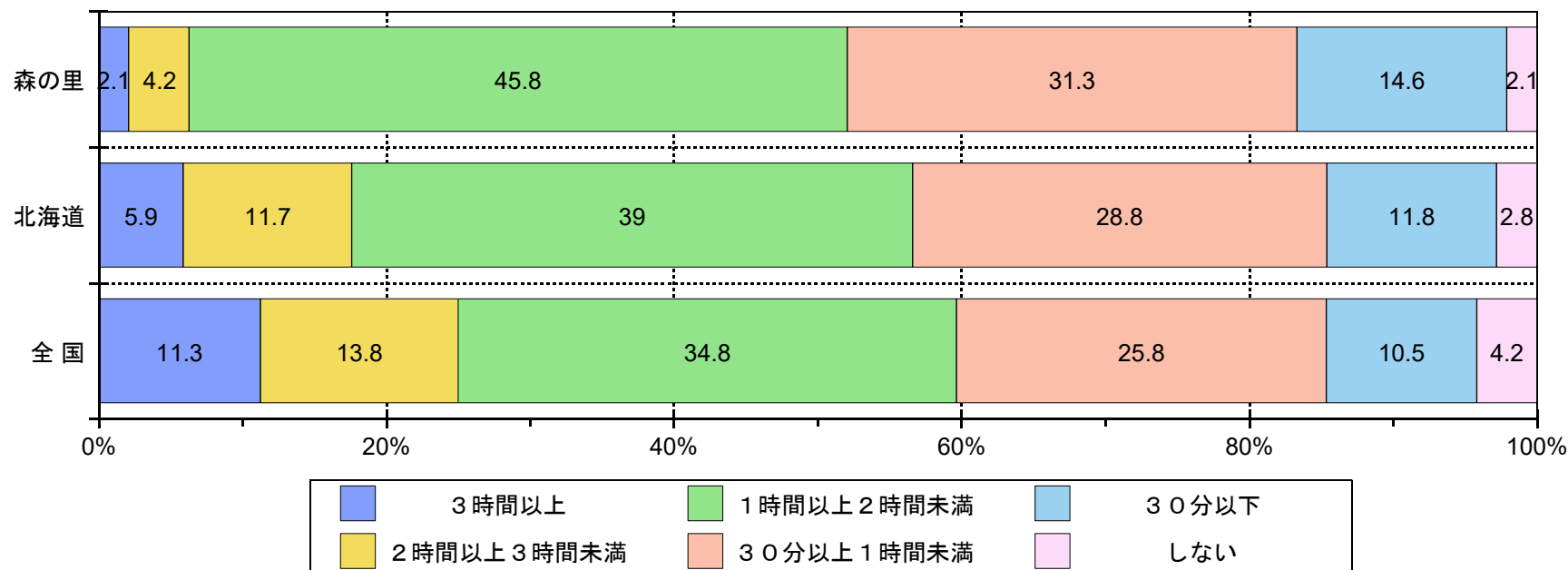


令和4年度全国学力・学習状況調査結果から 本校の学習及び生活状況について

No. 1

成果

学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか？

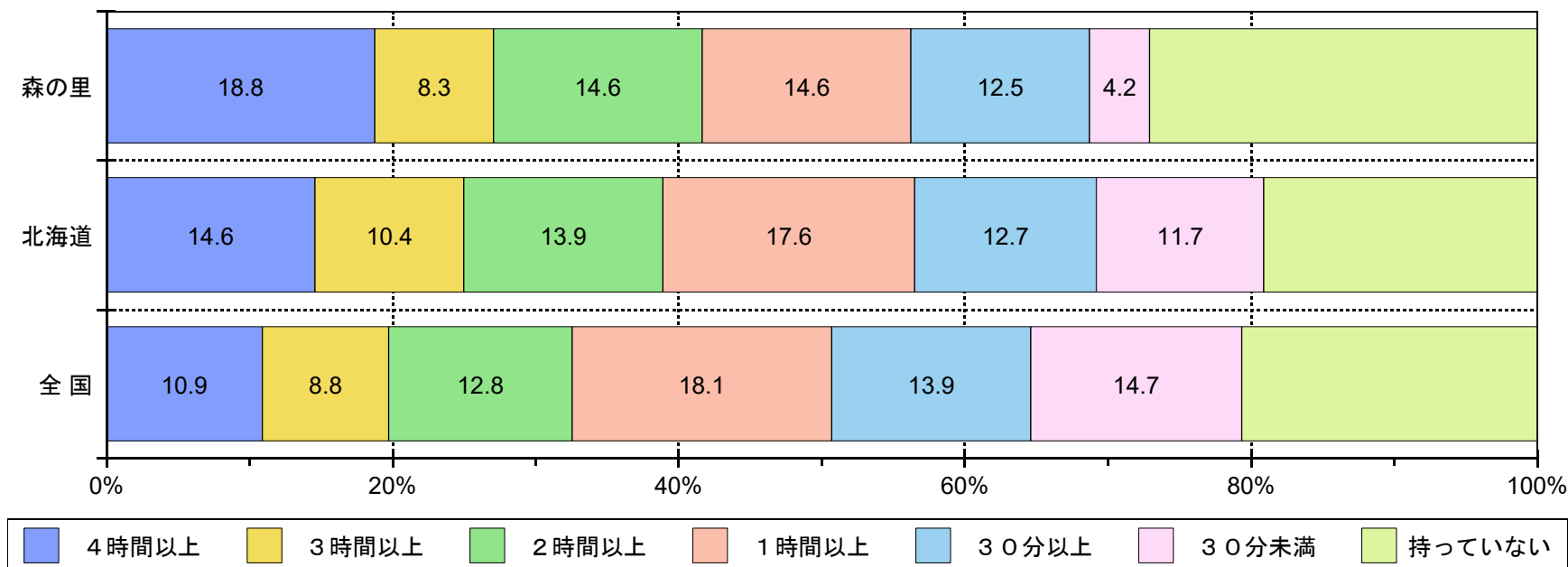


分析と考察

- ①家庭学習の時間が「30分以上2時間未満の子ども（77.1%）」割合は、全道（67.8%）を上回る結果となった。昨年度の本校の結果（50.0%）も大きく上回っている。
- ②「2時間以上」の子どもの割合は6.3%で、全道（17.6%）を大きく下回っており、昨年度の割合（17.7%）も下回っている。
- ③「まったくしない」子どもの割合は2.1%で、昨年度（8.8%）より減少した。しかし、依然として学習時間の2極化が見られ、家庭で学習する習慣づくりのきっかけとした宿題の活用や家庭学習の手引きの有効活用などが必要である。
- ④家庭での学習が学力の向上につながるよう、家庭への働きかけや家庭との連携を引き続き強化していく。

課題

普段、1日当たりどれくらいの時間、SNSや動画視聴などをしますか？



分析と考察

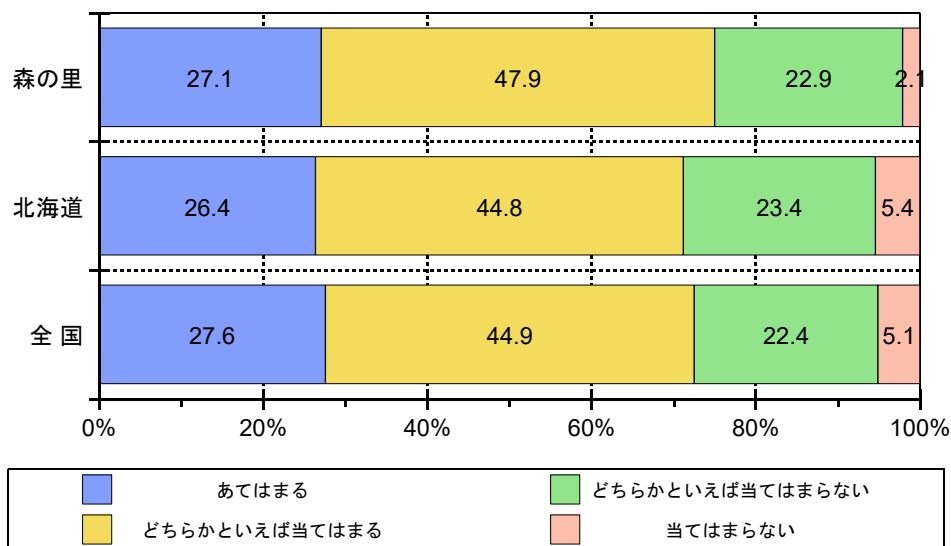
- ①携帯電話やスマートフォンの使用時間が「4時間以上」の割合（18.8%）は、全道全国を上回る結果となった。2時間以上使用する割合は、40%以上となっている。
- ②ゲームの時間（テレビゲームも含む）で見ると、「4時間以上」の割合が約27%となっている。
- ③携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている（きちんと、だいたい）割合は、約60%となっている。
- ④携帯電話やスマートフォンの使い方や使用時間については、学校だけでなく、家庭にも呼びかける必要がある。スマホの安全教室等の開催について、指導部と連携していく。（保護者参加型）

令和4年度全国学力・学習状況調査結果から 本校の学習及び生活状況について

No. 3

課題

難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。

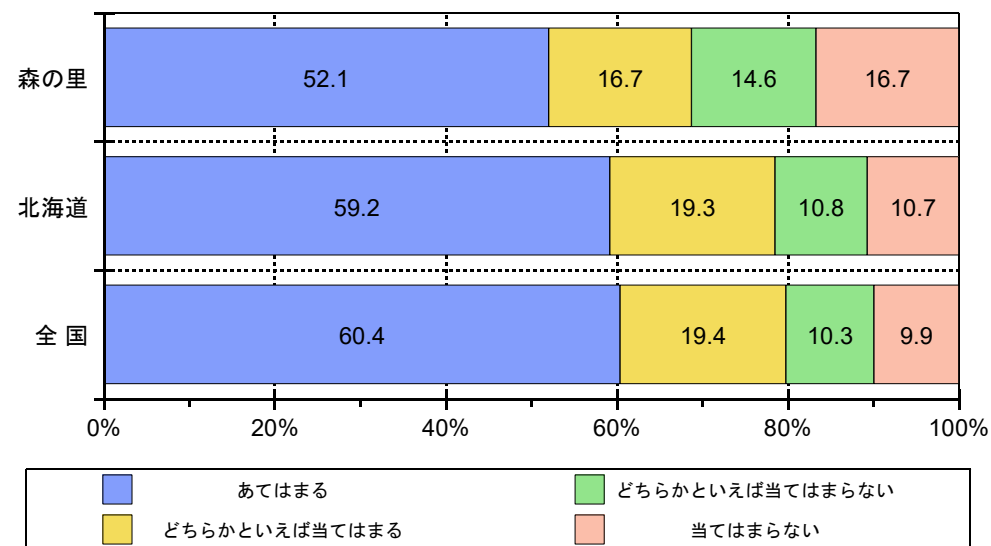


分析と考察

- ①「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」子どもの割合は75%で、昨年度（約61%）を上回っている。
- ②できないことや苦手なことに対しては、「あきらめてしまう」傾向が数年来強くなっている。学習だけでなく、日常生活の中でも児童の頑張りを認め、励ましの声かけを続けることで、自信をもって取り組めるようになってきた。

課題

将来の夢や目標を持っていますか。



分析と考察

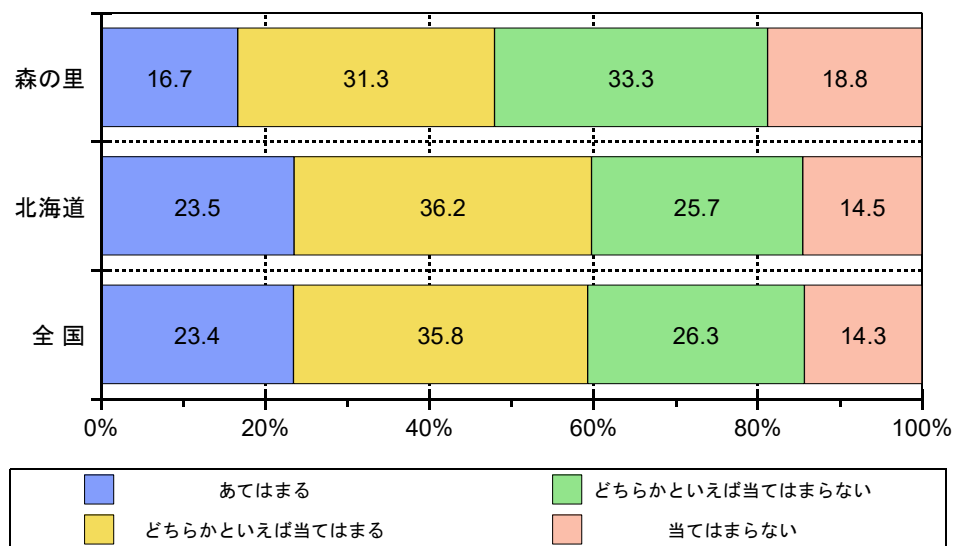
- ①「当てはまらない」と回答した子どもが約17%おり、全道全国を上回っている。数年来、この傾向が強い。
- ②別問「自分にはよいところがある」に対して約13%が「当てはまらない」と回答していることから、学校生活で味わえる達成感をより高め、個々の自己有用感を高められる場面づくりが必要である。
- ③道徳やキャリア教育の改善や充実が求められている。

令和4年度全国学力・学習状況調査結果から 本校の学習及び生活状況について

No. 4

課題

国語の勉強は好きですか。

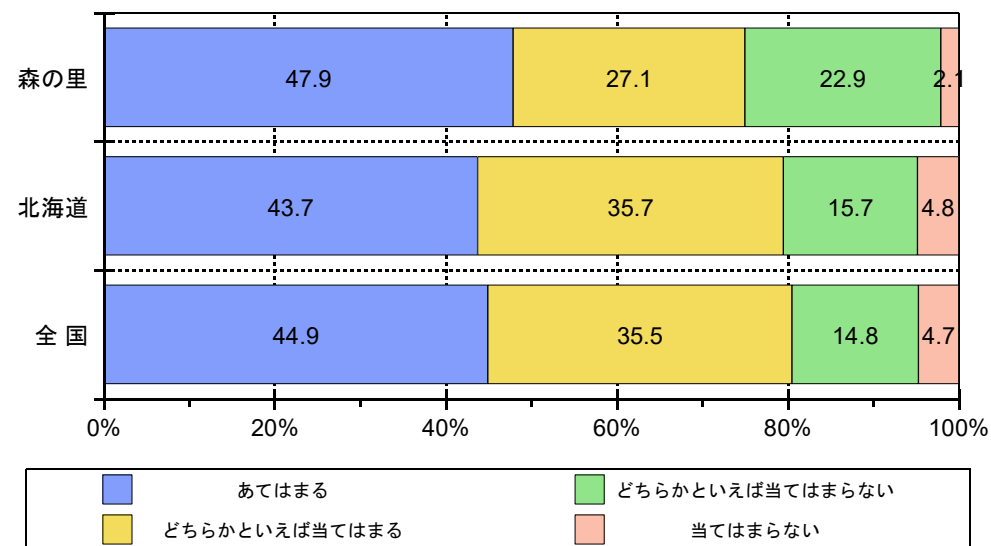


分析と考察

- ①「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」割合が半数以上で、「国語嫌い」の傾向が強くなっている。一方で「国語の学習は大切だと思う」「将来、役に立つと思う」割合は90%以上である。
- ②別問からは、「読書は嫌いではないが、読書時間が短い」という傾向が見られる。（全く読まないが約30%）
- ③基礎基本の定着と共に、読書や作文の楽しさを味わわせることが大切である。読解力が他の学力にもつながっていく。

課題

算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。



分析と考察

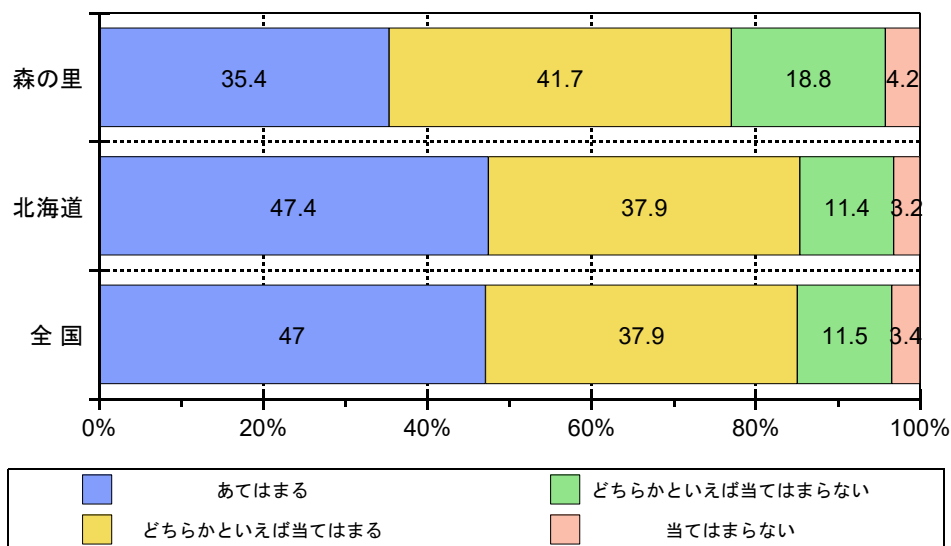
- ①「当てはまる」と回答した子どもは昨年度よりは減少したが、比較的高い割合をキープしており、全道全国を上回っている。「算数の勉強が好き」な割合も約60%となっている。
- ②校内研修や少人数指導の成果として、難しい問題に対しても、何らかの手段で問題に取り組もうとする姿勢が身についてきている。
- ③基礎基本の定着と共に、個に応じた指導や声かけ、ICTを活用した操作や交流活動を充実していく。

令和4年度全国学力・学習状況調査結果から 本校の学習及び生活状況について

No. 5

課題

理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか
考えていますか

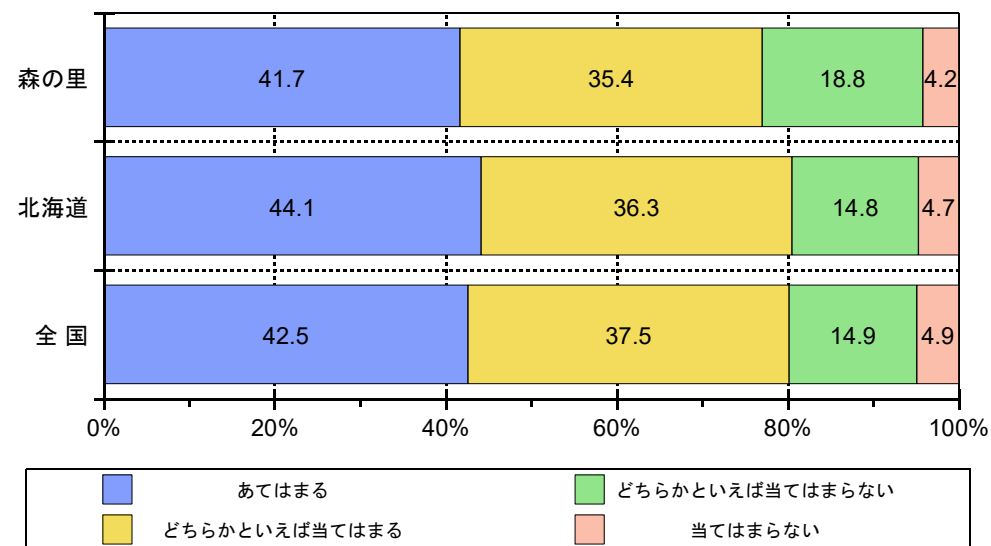


分析と考察

- ①「観察や実験の結果から考えている」割合は、約80%と高い結果になっている。
- ②「理科の勉強が好き」な割合が90%近いことから、他教科に比べ、興味関心の高さがうかがえる。学力調査の結果にも現れている。
- ③「予想をもとに計画立てる」が約75%、「振り返っている」が約65%となっている。実験や観察を通して、考える力を育てる手立てが必要である。

課題

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



分析と考察

- ①結果は、ほぼ全道全国と同等である。「当てはまる」と回答した子どもは昨年度（32.4%）よりも増えている。
- ②「話し合いを通じて、考えを深めたり広げたりする」割合が約70%、「互いの意見のよさを生かして解決する」割合が約65%となっており、話し合いの大切さを理解している。
- ③様々な場面で話し合い活動を取り入れることで、自分の考えを深めたり、他人の良さを認めたりすることにもつながる。

令和4年度全国学力・学習状況調査結果から 本校の学習及び生活状況について

No. 6

成果

「している・どちらかといえばしている」「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答した児童が85%以上の項目

(おおむね85%を含む)

<家庭での生活に関する項目>

朝食を毎日食べていますか (91.7%)

毎日、同じくらいの時刻に起きているか (85.5%)

<学校生活に関する項目>

友達と協力するのは楽しい (93.7%)

いじめは、どんな理由があってもいけない (100%)

<学習に関する項目>

ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思うか (93.7%)

国語の学習は大切だと思う (91.6%)

公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている (85.4%)

理科の勉強は好きですか (89.6%)

理科の授業の内容はよくわかりますか (95.8%)

<将来に関する項目>

人の役に立つ人間になりたいか (91.6%)

課題

「している・どちらかといえばしている」「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答した児童が70%以下の項目 (一部)

<家庭・地域・社会に関する項目>

自分には、よいところがあるか (68.7%)

自分と違う意見について考えるのは楽しい (62.5%)

地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあるか (43.7%)

<学習に関する項目>

家で自分で計画を立てて勉強している (66.7%)

自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表していた (58.3%)

思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていた (64.6%)